



茨城県八千代町

青少年海外派遣団



in ベトナム



あいさつ



八千代町がラックズオン県と友好都市協定を結んでから、約3年が経ちました。その間、いつか子どもたちが国を越えて直接触れ合う機会を持てたらと願い、準備を重ねてまいりました。今回、その第一歩が実現したことは、町にとっても大きな喜びです。

学生たちにとって、日本とは異なる文化や暮らしにふれ、若く、エネルギーに溢れるベトナムで過ごした数日間は、かけがえのない一生の財産となることでしょう。この貴重な経験をきっかけに、子どもたちが視野を広げ、人として成長し、将来の可能性を広げていってくれることを、心から願っています。

令和7年5月 八千代町長 野村 勇

派遣期間

令和7年3月26日（水）～31日（月）

派遣先

ベトナム国ラムドン省ラックズオン県
およびホーチミン市



団員名簿

相川 真依（大学4年）	飯山 朱莉（高校2年）	染野 結生（高校2年）	高木 琉偉（大学4年）
武井 志帆（高校2年）	高嶋 汐夏（高校2年）	土堂 簾弥（大学3年）	樋口 夏帆（高校2年）

スケジュール

日 程	主 な 活 動 内 容
3月26日（水）	八千代町役場出発→17:20 リエンクオン空港着／ナイトマーケット散策
27日（木）	ダラット大学日本語学科の学生との交流／クーラン村で少数民族文化体験
28日（金）	ランビヤン高校との授業体験・学生交流／Zoodoo 動物園見学／ダラット市内散策
29日（土）	ホーチミン市内散策／戦争証跡博物館見学／ベントイン市場等散策
30日（日）	クチトンネルでの平和学習／タンソンニャット空港到着
31日（月）	タンソンニャット空港発→10:30 八千代町役場到着



参加者 インタビュー



国土館大学

4年

たかぎ るい
高木 琉偉

——第1期生としてベトナムへの青年派遣団として参加しましたが、派遣前、派遣団についてどう考えていましたか？また派遣先のベトナムについてどんなイメージでしたか？

町が行う事業なので真面目な感じをイメージしていたんですけど、いざ参加してみると、担当者や、参加者の方が優しくて面白い方たちでした。皆のおかげでこの旅が楽しくなりました。また、ベトナムについて、正直、日本より発展していない国なのかな。っていうぐらいのイメージしかなかったです。海外旅行ってなってもハワイなどの英語圏や韓国、台湾などしか考えたことがなかったの。

ダラット大学
日本語学科の学生と
交流



——確かに、ベトナムに行こうとするきっかけは、なかなか無いかもしれませんね。そんな中で参加してくれたわけですが、事前研修では、ベトナム語の研修がありましたか？

小学生の頃から外国語は英語しか触れてこなかったんで、ベトナム語は思ったより発音が難しく、わからないことも多かったです。

——発音難しいよね。もうベトナム語忘れちゃった？

シンチャオ（こんにちは）とトイテンラ（私は～です。）しか覚えてないです。笑

——最終研修では皆でバインミー（ベトナムサンドイッチ）を食べましたが、どうでしたか？

食べましたね。人生初のベトナム料理でした。元々ちょっとエスニック系料理が苦手意識あったんですけど、バインミーに関しては全然食べれましたね。

事前研修で
タピオカドリンクと
バインミーを実食



——事前研修を終えて、現地に出発します。まずホーチミンに到着後の第一印象をおしえてください。

暑い。そして人が多い。そして国内線空港まで走った。今は新国内線ターミナルができて、もう走ることはないと思うと、みんなで走ったのも良い思い出ですね。

——ナイトマーケットはどうでしたか？

まず、ダラットの気候が涼しくて過ごしやすかったですね。ナイトマーケットは人が多く、ご飯や、フルーツ、食べ歩きできるストリートフードが沢山あって楽しかったですね。服も「こんなところで売るんだ。」って思っただけに見に行っちゃいました。人は多かったんですけど、強引に声をかけてくる人もいなかったの、歩きやすかったし面白かったですね。



ナイトマーケットで
お買い物

——ナイトマーケットまでは皆で歩きましたが道路の渡り方どうでしたか。

いやいや、これ大丈夫か。って思いました。歩道ないところを車の間を縫うように歩きましたからね。これがベトナムか。って思いました。すぐに慣れましたけど。



歩行者信号が
少ないので注意して
横断します

——2日目からは早速、学生交流を行いました。積極的に交流していたように見えたんですが、大学生、高校生との交流はどうでしたか？

大学生と交流して思ったのは、すごく話しかけやすかったですね。日本語を学んでるので向こうからも色々話してくれて、ベトナム語も教えてもらって楽しく会話した印象が残ってます。高校生との交流はスマホ使って翻訳してコミュニケーションとりました。高校生もすごいフレンドリーに接してくれて、蒸しパンを手作りして用意してくれたり、歓迎してもらって嬉しかったです。手作りのプレゼントには驚きましたよね。もっと交流したいと思いました。



ランビヤン高校で
授業体験・学生交流

——ホーチミンへ戻って、平和学習や選択学習を行いました。印象に残っていることを教えてください。

戦争証跡博物館ですね。日本では普段、あまり博物館とかに行かないのですが、全部見入ってしまいました。写真もあってより理解できました。ありのままの写真は衝撃的でしたが、これが真実なんだなと思いましたし、昔ってすごい時代だったんだと思いました。



戦争証跡博物館で
平和学習

——高木君には聞いておかなければならない事があるんだけど、最終日の夜、ホーチミンの路上で「アンマー」を歌ったのは本当ですか？

ホテルの前が歩行者天国になってて、明るくて、めちゃめちゃ人がいて、すごい活気があって。面白そうなのでみんなで行って写真撮ったり、マック行ったりしました。そこで人が並んでるところがあって行ってみたら、歌えるよみたいな事言われたんです。せっかくだから歌いました。



歌い終わった後、
とある出来事が…

——なかなか無い経験だね。最初に聞いた時びっくりしました。

でも、さらにびっくりすることがあって、歌い終わったら料金請求されたんです。そのお金渡す相手が、小学4年生ぐらいの子どもだったんです。私は弟がいるので、「これ自分の弟がやってるようなもんだ。」って思って。子どもがこうやって夜10時ぐらいに外でお金稼いでる現実にショックを受けました。また自分がいかに恵まれた環境で生きてきたかをこの派遣でより感じました。



役場庁議室で
派遣終了の報告

——これは今回の派遣団のなかでも高木君にしかできない経験だったね。派遣の前と後でベトナムへのイメージは変化しましたか？

最初は危ない国なのかなっていう感じはしたんですけど、いざ行ってみて、いろんな所に行かせてもらったり、なんかいろんな経験させてもらって、思った以上に皆さん店員さんも含めていい人が多く、ご飯も美味しくて、本当にこれから僕が海外行くなってなったらベトナムも選択肢に入るぐらい楽しい国だな。って思いました。今度は自分のお金で来たいですね。

——参加を検討している学生にメッセージをお願いします。

学生の頃にしかできない経験ですし、迷ってるなら参加した方がいいと思います。自分のために。後々経験として生きてくると思います。



ベトナムの
学生たちと
ハイチーズ！

ちなみに…

プロフィール画像の
高木さんが着ている
ベストは、
ベトナムの少数民族
「K'ho 族」の
民族衣装

